

令和3年度 国立博物館収蔵品貸与促進事業 実施対象館 募集要項

1 趣旨

東京国立博物館・京都国立博物館・奈良国立博物館・九州国立博物館（以下、「国立博物館」という。）は、自ら展覧事業を行うとともに、国内外の博物館・美術館に対して国立博物館収蔵品（以下、「収蔵品」という。）を貸与し、日本とアジアの歴史・伝統文化の発信に努めてまいりました。

「国立博物館収蔵品貸与促進事業」は、国立文化財機構文化財活用センター（以下、「センター」という。）と国立博物館が、国内各地の美術館・博物館（以下、「博物館等」という。）に対し、収蔵品を貸与し、日本およびアジアの歴史・文化への理解を進めるとともに、地方創生にも寄与しようとする事業です。

これにより、当該地域の歴史と文化に関わる展覧会が開催され、国民のみならず訪日外国人の、日本とアジアの美術・考古資料等に対する親しみが増し、次世代への文化財の継承、観光振興につながることをめざします。

※令和3年（2021）4月～令和4年（2022）3月末までに開始される展覧会が対象です。

※奈良国立博物館・九州国立博物館の坂本五郎コレクションなど、寄贈条件により一部貸与できない収蔵品があります。詳細についてはお問合せください。

2 事業内容

国立博物館とセンターは次のとおり収蔵品を博物館等に貸与する事業を実施します。また、事業実施に当たり、必要に応じて展示環境の確認、貸与諸条件の調整、収蔵品の展示・撤収の立会い等を行います。

（1）全収蔵品対象型

※収蔵品の中から、応募館が自ら設定したテーマに応じて借用希望作品リストを作成するものです。

①【大規模貸与】

1か所につき21～50件程度の収蔵品を貸与（各年度1か所を想定）

②【小規模貸与】

1か所につき20件以内の収蔵品を貸与（各年度5か所程度を想定）

（2）貸与可能作品提示型

※あらかじめ国立博物館より提示された収蔵品を中心に、応募館が借用希望作品リストを作成するものです。

①【貸与可能作品提示型・考古】

東京国立博物館所蔵の日本考古資料を貸与します
（各年度1か所を想定、最大30件まで。別紙1参照）

②【貸与可能作品提示型・黒田】

東京国立博物館所蔵の黒田清輝作品を中心に貸与します
（各年度1か所を想定、最大25件まで。別紙2参照）

3 事業の対象

- (1) 本事業の対象となる博物館等（以下、「貸与先」という。）は、文化庁長官の承認を受けた公開承認施設及び博物館法で定められた登録博物館、博物館相当施設です。前年度までに公募により候補を選定し、選定委員会により決定します。
- (2) 貸与する収蔵品（以下、「貸与品」という。）は、貸与先で開催される展覧会のテーマに沿って、国立博物館における展示に支障のない範囲で作品選定を行います。

4 観覧料

本事業の実施対象となる展覧会の観覧料は、貸与先がセンターおよび国立博物館と協議のうえ、定めるものとします。

5 観覧料収入等

観覧料及び図録等の販売物にかかる収入は、貸与先に帰属します。

6 開催費用の支出区分

- (1) 本事業にかかる費用のうち、次に掲げる費用はセンターが支出するものとします。
 - ①貸与品の梱包・開梱及び展示・撤収作業にかかる費用
 - ②国立博物館から貸与先へ及び貸与先から国立博物館への貸与品の輸送にかかる費用
 - ③貸与品の保険にかかる費用
 - ④国立博物館が必要と認めた貸与先職員の出張旅費（事前調査及び打合せを含む）
 - ⑤国立博物館及びセンター職員の出張旅費
 - ⑥広報媒体の制作及び掲載等にかかる費用の一部（貸与品件数が 20 件を超える場合に限り）
- (2) 本事業にかかる費用のうち、次に掲げる費用は貸与先が支出するものとします。
 - ①展覧会図録の制作にかかる費用
 - ②貸与品の画像利用にかかる費用
 - ③会場設営、広報及び宣伝にかかる費用
 - ④教育普及事業・イベント等にかかる費用
 - ⑤その他、国立博物館が支出する経費以外の費用

7 貸与条件

- (1) 貸与品の集荷・返却時の国立博物館での点検作業は、国立博物館職員とともに貸与先の責任において貸与先職員が行ってください。
- (2) 貸与品の集荷・返却時の国立博物館での梱包・開梱作業は、国立博物館職員立ち会いのもと、貸与先の責任において貸与先職員が行ってください。
- (3) 貸与品を輸送する美術品専門車には貸与先職員が同乗してください。
- (4) 貸与品の貸与先における開梱・梱包・展示・撤収は貸与先の責任において貸与先職員が行ってください。

- (5) 展覧会のポスター・チラシ・図録等の印刷物及び Web サイトに「特別協力 国立文化財機構文化財活用センター・各国立博物館名」と必ず表示してください。
- (6) 新規貸与の場合はセンターが貸与先の環境調査、保安体制の確認を行います。（調査の結果によっては、選定を取り消す場合があります。）なお、国立博物館からの借用実績がある博物館等でも、その後に館内のリニューアル等、工事を行った場合は、新規貸与とみなされます。
- (7) 借用希望作品を取り扱うことができる学芸員が勤務していることを求めます。
- (8) 展覧会終了後、センターが定める書式に従って事業実施報告書を提出してください。
- (9) その他、文化財保護法に定める規定、及び国立博物館が定めた条件を必ず遵守してください。

8 申請方法

別紙、「国立博物館収蔵品貸与促進事業 希望調書」（様式 1）に必要事項を記載のうえ、次に掲げる書類を電子メールと郵便にてご送付ください。特に指定のないものは様式自由です。

(1) 必要書類

- ①国立博物館収蔵品貸与促進事業 希望調書（様式 1）
- ②借用希望作品リスト（様式 2）
- ③展覧会の要項・趣旨（様式 3）
- ④展覧会の全出品予定作品リスト（国立博物館から借用を希望する作品を含めたもの）
- ⑤館内のリニューアル等、工事を行っている場合は工事の内容資料
- ⑥施設概要等のパンフレット等
- ⑦展示会場図面（図面に展覧会構成及び借用希望作品のおおよその配置等を示すこと）
- ⑧特別展予算状況（様式 4）
- ⑨施設の設置に関する規約（博物館等設置条例など）
- ⑩施設の組織図（各部署の長の氏名、人員配置などを記入）
- ⑪施設の長及び担当学芸員の履歴（様式 5）
- ⑫業務体制に関する事項（様式 6）
- ⑬資料管理体制に関するアンケート調査（様式 7）

※上記書類の内、様式 1～7 は、文化財活用センターホームページ「令和 3 年度 国立博物館収蔵品貸与促進事業 実施対象館 募集要項」よりダウンロードしてください。

（URL : <https://cpcp.nich.go.jp/>）

(2) 送付先・問合せ先

〒110-8712 東京都台東区上野公園 13-9

独立行政法人国立文化財機構文化財活用センター 貸与促進担当

電話 : 03-5834-2856

E-mail : taiyo-cpcp@nich.go.jp

9 応募受付期間

令和 2 年 4 月 1 日（水）～6 月 30 日（火）[17 時必着]

10 選考結果の通知

選定委員会の選考を経て、令和 2 年 9 月末日までに各施設へ選考結果通知を、12 月末日までに事業確定通知を送付します。

（参考）

国立博物館収蔵品貸与促進事業実績

平成 29 年（2017）度

- ・秋田県立近代美術館「Ippin! 逸品 明治工芸の至宝展」貸与件数：8 件
- ・福島県立博物館「山水憧憬 一雪舟・蕪村・応挙 水墨の山野に遊ぶ一」貸与件数：18 件

平成 30 年（2018）度

- ・大阪歴史博物館「没後 130 年 なにわ人物誌 堀田龍之助 一幕末・近代の大阪に生きた博物学者一」貸与件数：3 件
- ・齋宮歴史博物館「齋宮のまわりにも魅力がいっぱい一齋宮で自由研究②一」貸与件数：1 件
- ・彦根城博物館「長曾祢虎徹一新刀随一の匠一」貸与件数：5 件
- ・大分県立美術館「国宝、日本の美をめぐる一東京国立博物館名品展」貸与件数：44 件
- ・堺市博物館「堺・経典をめぐる文化史」貸与件数：2 件
- ・板橋区立郷土資料館「再発見！いたばしの遺跡一いたばしの旧石器時代・縄文時代一」貸与件数：6 件

平成 31 年／令和元年（2019）度

- ・三重県立美術館「没後 200 年記念 増山雪齋展」貸与件数：10 件
- ・三内丸山遺跡センター「あおもり土偶展」貸与件数：5 件
- ・高岡市美術館「明治金工の威風一高岡の名品、同時代の名工」貸与件数：32 件
- ・大分県立先哲史料館「大分のキリスト教史」貸与件数：17 件
- ・千葉県立美術館「令和元年度アート・コレクション+近代洋画の先駆者 浅井忠 11一トーハクの名画がやってきた！一」貸与件数：7 件

※国立博物館の収蔵品につきましては、以下のデータベースをご参照ください。

国立博物館所蔵品統合検索システム <https://colbase.nich.go.jp/>

【貸与可能作品提示型・考古】

1 趣旨

東京国立博物館は、日本の各地域の遺跡から出土した、旧石器時代から江戸時代にわたる考古資料を数多く所蔵しています。

これらのうち、重要文化財や重要美術品を含む、縄文時代の土器や土偶、弥生時代の土器や銅鐸、古墳時代の埴輪や勾玉、鏡など、各時代や各地域を代表する優品を選び出し、時代ごとに移り変わる造形美の変遷をたどることができる貸与可能作品リストを別紙にまとめています。

リスト記載の作品に加えて開催館所在の地域の考古資料を東京国立博物館収蔵品から貸与し、展覧会をとおして展示・公開することにより、それぞれの地域における歴史や文化への人々の理解を進め、地域文化の創生と観光の振興に資することをめざします。

2 開催館数

各年度 1 か所を想定。

3 貸与可能作品リストの概要

- A. 縄文時代は、「縄文」の名称の由来や当時の人々の造形力を象徴する縄文土器に加え、祈りの造形とも呼ばれる土偶や土製品を候補とします。
- B. 弥生時代は、農耕社会が生み出した用途別の土器のうち祭りに用いられた弥生土器や朝鮮半島を経て日本独自に展開した銅鐸を候補とします。
- C. 古墳時代は、権力を象徴する造形として、古墳に納められた鏡や柄頭そして勾玉などに加え、古墳を飾った須恵器や埴輪を候補とします。

4 その他

応募にあたっては、「(様式 2) 借用希望作品リスト」に希望作品を記入し、募集要項の「8 申請方法」に挙げた必要書類とともに提出してください。貸与可能作品リストに提示した作品 19 点全てを申請することも、一部を申請することも可能です。また、貸与可能作品リストで提示された作品以外の考古資料を追加して申請することもできます。但し、借用希望作品総件数は 30 件までとしてください。

令和3年度 国立博物館収蔵品貸与促進事業
東京国立博物館所蔵 貸与可能作品リスト(日本考古分野)

指定	列品番号	名称	員数	時代	出土地	画像	備考	修理・展示 具等
1	J-34483	深鉢形土器	1個	縄文時代(中期)・前3000～前2000年	東京都あきる野市牛沼出土		後藤守一氏寄贈	
2	J-12074	深鉢形土器	1個	縄文時代(中期)・前3000～前2000年	長野県伊那市宮ノ前出土		徳川頼貞氏寄贈	
3	J-34544	深鉢形土器	1個	縄文時代(中期)・前3000～前2000年	千葉県市川市姥山貝塚出土		杉原荘介氏寄贈	展示具貸出可能
4	J-37834	深鉢形土器	1個	縄文時代(中期)・前3000～前2000年	東京都あきる野市菅生字中出土		塩野半十郎氏寄贈	
5	J-36558	遮光器土偶	1個	縄文時代(晩期)・前1000～前400年	秋田県美郷町六郷石名館出土			展示具貸出可能
6	J-23211	みみずく土偶	1個	縄文時代(晩期)・前1000～前400年	埼玉県鴻巣市滝馬室出土			展示具貸出可能

指定	列品番号	名称	員数	時代	出土地	画像	備考	修理・展示 具等
7	重美 J-36876	猪形土製品	1個	縄文時代(後～ 晩期)・前2000～ 前400年	青森県つがる 市木造亀ヶ岡 出土			2020年3 月31日ま でに修理 完了予 定。
8	J-11472	円窓付壺	1個	弥生時代(中 期)・前2～前1世 紀	愛知県名古屋 市熱田貝塚 出土		徳川頼 貞氏寄 贈	展示具貸 出可能
9	重文 J-11694	壺	1個	弥生時代(後 期)・1～3世紀	愛知県名古屋 市熱田区高蔵 町出土		徳川頼 貞氏寄 贈	
10	J-3734	壺	1個	弥生時代(中 期)・前2～前1世 紀	宮崎県高千穂 町岩戸阿蘇原 下出土		土持千 葉彦氏 寄贈	展示具貸 出可能
11	J-3735	無頸壺	1個	弥生時代(中 期)・前2～前1世 紀	宮崎県高千穂 町岩戸阿蘇原 下出土		土持千 葉彦氏 寄贈	展示具貸 出可能
12	J-5715	突線紐3式銅 鐸	1個	弥生時代(後 期)・1～3世紀	静岡県浜松市 東区和田町出 土			
13	J-8983	突線鈕4式銅 鐸	1個	弥生時代(後 期)・1～3世紀	和歌山県みな べ町西本庄出 土			

指定	列品番号	名称	員数	時代	出土地	画像	備考	修理・展示 具等
14	J-38899-1	土師器 二重口縁壺	1個	古墳時代・3~4世紀	大阪府柏原市・藤井寺市船橋遺跡出土		田村淳正氏寄贈	2020年9月30日までに修理完了予定。展示具貸出可能
15	J-6196-2	三角縁三神三獸鏡	1面	古墳時代・4世紀	佐賀県唐津市谷口古墳出土			
16	J-5672	単鳳環頭柄頭	1個	古墳時代・6世紀	茨城県境町八龍神塚古墳出土		鈴木音四郎外2名寄贈	
17	J-10	子持裝飾付脚付壺	1個	古墳時代・6世紀	岡山県瀬戸内市長船町小笠山出土			展示具貸出可能
18	J-22044	埴輪 切妻造家(住居)	1個	古墳時代・5世紀	群馬県藤岡市白石稻荷山古墳出土			
19	J-7786	子持勾玉	1個	古墳時代・6世紀	出土地不詳			

【貸与可能作品提示型・黒田】

1 趣旨

「読書」や「湖畔」の作品で知られ、“日本近代洋画の父”と称される黒田清輝（1866～1924）は、もともと法律家となるために1884年にフランスへ留学しますが、アカデミズムの画家ラファエル・コランと出会い、画家を志すこととなりました。1893年に帰国したのち、美術団体の白馬会を創設し、コランに学んだ、明るく清新な作風で一躍注目を集めました。

同じ年には、東京美術学校（現在の東京藝術大学）で黒田を指導者として西洋画科が新設されました。また、黒田の指導した学生たちが白馬会の展覧会で作品を発表、活躍することで、黒田の作風になった“外光派アカデミズム”は日本の洋画壇に根づいていきます。その後も黒田は文展審査員や帝室技芸員、帝国美術院院長等、数々の要職を歴任しました。1924年に58歳の生涯を閉じた黒田は、遺産の一部を美術の奨励事業に役立てるよう遺言を残し、これを受けて設立されたのが黒田記念館です。

本事業は、1977年から2014年まで各地の美術館・博物館で毎年開催されていた巡回展「日本近代洋画の巨匠 黒田清輝展」の理念を継承し、収蔵品貸与促進事業の一環として実施するものです。明治～大正期の日本美術に多大な足跡を残した黒田清輝の画業を広く紹介するとともに、彼が各地の美術の近代化に大きく貢献した功績を顕彰することを目的とします。黒田作品を中心に、黒田が指導した画家等ゆかりのある東京国立博物館の収蔵品を貸与することで、地域文化の振興に資することをめざします。

2 開催館数

各年度1か所を想定。

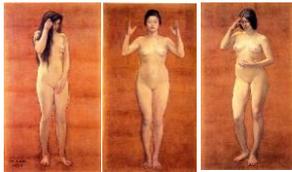
3 貸与可能作品リストの概要等

最大25件まで申請が可能です。以下のA～Eを自由に組み合わせて申請してください。A、Bについては別紙リストをご参照ください。また、C、Dについては、東京文化財研究所のウェブサイト「黒田記念館所蔵黒田清輝作品集」http://www.tobunken.go.jp/materials/kuroda_works、Eについては、国立博物館所蔵品統合検索システム(Colbase)<https://colbase.nich.go.jp/>をご参照ください。但し、A～Eすべての項目を選択する必要はありません。

- A. 黒田記念館特別室で例年公開している「読書」、「舞妓」、「智・感・情」、「湖畔」
これらの中から1件を申請可能です。ただし、展示期間は6週間以内。
特別室公開の時期（10月末～11月初、1月前半、3月末～4月初）は貸与できません。
- B. 黒田清輝の油彩画（「マンドリンを持てる女」、「赤髪の少女」、「昼寝」、「逍遙」、
「瓶花」、「花野」、「婦人肖像」、「雲」）
これらの中から1件を申請可能です。ただし、展示期間は12週間以内。
- C. 上記以外の黒田清輝の油彩画
これらの中から8件までを申請可能です。ただし、展示期間は12週間以内。
- D. 黒田清輝の素描
これらの中から10件までを申請可能です。ただし、展示期間は12週間以内。
- E. 東京国立博物館が所蔵する黒田清輝と関わりのある作家の作品
これらの中から5件までを申請可能です。ただし、展示期間は国立博物館が定める期間といたします。

令和3年度 国立博物館収蔵品貸与促進事業
東京国立博物館所蔵 貸与可能作品リスト(黒田清輝)

A

列品番号	指定	名称	制作年	員数	法量	材質技法	画像
1 A-10937		読書	1891年	1面	98.2×78.7cm	カンヴァス・油彩	
2 A-11258	重文	舞妓	1893年	1面	81.0×65.2cm	カンヴァス・油彩	
3 KU-a053~055	重文	智・感・情	1899年	3面	各180.6×99.8cm (3面)	カンヴァス・油彩	
4 KU-a117	重文	湖畔	1897年	1面	69.0×84.7cm	カンヴァス・油彩	

※但し、「智」、「感」、「情」にはそれぞれ列品番号が付されているが、ここでは「智・感・情」1件として数えるものとする。

B

列品番号	指定	名称	制作年	員数	法量	材質技法	画像
1 A-11103		マンドリンを 持てる女	1891年	1面	80.2×64.3cm	カンヴァス・油彩	
2 KU-a122		赤髪の少女	1892年	1面	80.6×64.5cm	カンヴァス・油彩	
3 KU-a034		昼寝	1894年	1面	49.8×61.0cm	カンヴァス・油彩	
4 A-727		逍遙	1895年	1面	57.7×63cm	カンヴァス・油彩	

	列品番号	指定	名称	制作年	員数	法量	材質技法	画像
5	A-863		瓶花	1912年	1面	77.0×71.0cm	カンヴァス・油彩	
6	KU-a079		花野	1907-15年	1面	126.5 x 181.2cm	カンヴァス・油彩	
7	KU-a063		婦人肖像	1911-12年	1面	65.8 x 50.4cm	カンヴァス・油彩	
8	KU-a066-01~06		雲(6枚組)	1914/21年	6面	各26.0 x 34.5cm	板・油彩	     

※但し、「雲」(6枚組)にはそれぞれ列品番号が付されているが、ここでは「雲」(6枚組)1件として数えるものとする。